

「ハウディモールの 将来像を考える」

第5回ワークショップを開催しました！



第5回ワークショップ(12月7日)概要

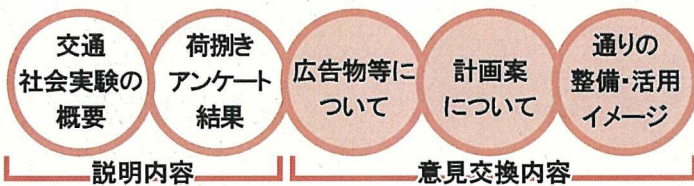


ワークショップの様子

柏市では、柏駅周辺の街の魅力度とポテンシャルの向上等を目指して、「柏駅周辺まちづくり10カ年計画」を策定し、駅周辺の各「通り」の将来イメージを沿道の方々と一緒に検討するワークショップを昨年度より開催しています。

第5回となる今回は、平面計画案をベースにした道路活用や荷捌き方法についての意見交換や、街並み形成・広告物についてのイメージ共有を行いました。主な意見については、裏面をご覧ください。

第5回ワークショップの内容



■街並み：広告物等について

通りの多様性と両立できる 統一感づくりのルール検討

- ・新規出店時に、看板の大きさや色調、色のトーンについてのある程度の指針があるとよい
- ・条例または独自ルールなどをつくる必要があると認識している



- ・広告効果の観点からも看板の位置は重要
- ・看板の位置に関する、すでに存在しているルールの再確認が必要
- ・張り出し看板の取り付け位置を、駅から見て奥側に統一したい

色から始める 看板の統一感づくり

- ・色調などが統一されていると店舗を探しやすい
- ・費用の面から考えると、まずは色から統一するのがよいだろう



通りの個性を 活かす看板の考え方

- ・多様性も重要である
- ・レイソルカラーやレイソルのバナーを配置すると良いのではないかと

その他の統一のしかた

- ・以前派手な外観だった店舗のテナントが変わり、落ち着いた雰囲気になった
- ・袖看板を外し、袖看板のない通りにしてはどうか